



〈概要〉

高知街ラ・ラ・ラ音楽祭は、ことしで第 20 回を迎える野外音楽祭です。今回の開催日は 9 月 17 日（日）。この日は、高知市の中心市街である帯屋町を中心とした複数（9 会場を予定）の屋外ステージで、さまざまなジャンルのミュージシャンが演奏を繰り広げ、街は音楽一色となります。

ことしもさまざまな会場で、公募によるミュージシャン約 100 組の出演を予定しています。年を追うごとに、出演者も腕を上げているのに加え、音楽のジャンルもますますバラエティ豊かになってきました。どなたにも気に入っていただける音楽が見つかると思います。

2020 年、21 年は、コロナ禍のため中止、続く 22 年は感染対策に満を持して臨んだものの、台風のため翌春に延期となった経緯があります。今回は、実に 4 年ぶりの 9 月開催。懐かしい顔ぶれに再会するとともに、新しい仲間もたくさんできることと思います。

〈目的・効果〉

ミュージシャンにとっては発表と交流の場になり、高知の音楽シーンの裾野を広げるとともにレベルアップにもつながります。まちなかに設けた複数の会場から一日中音楽が流れることにより、回遊性が生まれ、人々が音楽を媒体としてまちに親しみ、ひいては中心市街地の活性化につながることを期待されます。

〈歴史〉

ラ・ラ・ラ音楽祭が始まった 2002（平成 14）年当時は、郊外型の大型店舗が高知にも押し寄せてきた時期でした。この音楽祭は、高知市の中心市街地を活性化するための取組の一つとして始まりましたが、その年の開催が決まっていた「よさこい高知国体」のために高知を訪れる人々を歓迎する気持ちもこめられていました。

最初の年は、会場は 5 会場。出演者も 50 組ほどの規模でしたが、幸いに好評を博し、その期待にこたえるため、毎年開催をするようになりました。

いまでは会場数は倍以上に増え、日本中からたくさんのミュージシャンが応募してくれるようになり、「秋の一日、音楽が流れる日」として、多くの人に親しまれています。

平成 16 年にはじまったイベント「土佐のおきやく」にも参加していますが、毎年 3 月に行われることから、秋の本祭に対して、こちらは「ラララ春まつり」の名前で定着しています。

第 10 回の 2011 年 3 月には、東日本大震災が発生し、音楽祭の意味を改めて問う機会となりましたが、東北で活躍する 3 組のミュージシャンを迎え、音楽の持つ力を確認することができました。

私たちは、新たな取り組みを続けることによって常に進化し続ける音楽祭でありたいと願っています。

当初からのテーマである「街をステージに」というコンセプトも定着し、街そのものを使ったイベントが、この音楽祭をきっかけに少しずつ増えて行きました。結果として、街の魅力とにぎわいは、確実に広がっています。

〈運営資金〉

運営にかかる経費は、一般公募による出演者一人当たり 2,500 円の協力金、配布物への広告掲載料及び募金によりまかなわれています。

〈ゲストミュージシャンについて〉

知名度に左右されることなく、心から「たくさんの人に聞いてもらいたい」と思うミュージシャンに出演をお願いしてきました（過去のゲストについては別紙参照）。

〈入場料〉

入場料は徴収していません。後夜祭も含め、無料で観覧することができます。

〈主催〉

高知街ラ・ラ・ラ音楽祭実行委員会 会長 広末幸彦 実行委員長 門脇隆彦
公益財団法人高知市文化振興事業団内 高知市九反田 2-1 TEL 088-883-5071

〈参考〉これまでの実績について

回数	会場数	出演 バンド数	ゲスト	備考
第 1 回（2002 年）	中央公園、ひろめ市場など 5 会場	4 8	Blues File No.1 近藤房之介	高知国体夏季大会 歓迎イベント
第 2 回（2003 年）	中央公園、丸の内緑地など 7 会場	8 3	三崎ともやす、シシムンド 近藤房之介	
第 3 回（2004 年）	中央公園大橋通りなど、8 会場	9 0	西村入道、クンチョウ、三宅伸治、ローローズ、友部正人	
第 4 回（2005 年）	中央公園大橋通りなど、13 会場	1 5 0	近藤房之介、有山じゅんじ、 ローローズ、、西村入道、ベッカー	
第 5 回（2006 年）	中央公園、大橋通りなど 12 会場	1 5 0	木村充揮、てっちゃん&せのちゃん、三宅伸治、ローローズ	

第6回(2007年)	中央公園、大橋通り など13会場	160	クレージーフィンガーズ、 ローローズ	
第7回(2008年)	中央公園、大橋通り など11会場	135	南 佳孝	
第8回(2009年)	中央公園、大橋通り など10会場	128	三宅伸治、ローローズ、桑名晴子	
第9回(2010年)	中央公園、大橋通り など10会場	121	三宅伸治 BAND、片山広明、 矢野絢子	
第10回(2011年)	中央公園、大橋通り など9会場	120	HEATWAVE、PACHANGA、 高木まひことシェキナベイビーズ他	震災復興チャリティ 前夜祭開催
第11回(2012年)	中央公園、大橋通り など9会場	121	MAGICAL CHAIN CLUB BAND、 PACHANGA、スーパーバンド他	
第12回(2013年)	中央公園、大橋通り など10会場	128	BLACK BOTTOM BRASS BAND、王様	
第13回(2014年)	中央公園、大橋通り など、9会場	123	曾我部恵一	
第14回(2015年)	中央公園、大橋通り など9会場	121	ichiro	Ustream 会場あり
第15回(2016年)	中央公園、大橋通り など10会場	134	Biscotti、秋本節、竹本洋介	大学生運営会場
第16回(2017年)	中央公園、大橋通り など4会場	101	ポロロッカリンド	台風のため中止、2018年3月「ラ・ラ・ラ 春まつり」を2Daysとして開催
第17回(2018年)	中央公園、大橋通り など10会場	126	TOSHIAKI KIMURA BAND	
第18回(2019年)	中央公園、大橋通り など10会場	146	リクオ・ウルフルケイスケ 高木まひことシェキナベイビーズ	
第19回 (2020~2022年)	新型コロナウイルスの影響により中止、「”WEB”ラ・ラ・ラ音楽祭」として、2020年はのべ75組が、 2021年は45組が参加。2022年は95組がラララ春祭りとして開催			